

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 ウエルフェアネット	代表者	平山 正明	法人・ 事業所 の特徴	家訓「あるがままに 楽しく ゆったり」とのもと、小規模で多機能なサービス提供を心がけ、細やかな対応を実践している。登録定員 29 名の内 1 日 15 名が通い、小規模である特徴を生かし、利用される方がこれまでの地域との繋がりを無くさず、習い事や地域のサロンなどを継続できるよう支援している。また、顔の変わらないケアが生かされ、地域に出た時に相談や要望が出るような関係性も出来ている。認知症になっても本人が望む暮らしが可能な限り継続され、家族・地域・事業所が協力をして、本人の安心した暮らしが継続できるように、今後もサービス提供を行っていく。
事業所名	小規模多機能型居宅介護施設 さわやか憩いの家二日市	管理者	紺田 光二		

	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	1 人	3 人	0 人	0 人	1 人	0 人	6 人	0 人	11 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・サービス評価をしていただくメンバーを地域運営推進会議のメンバーだけに限らず、民生委員・福祉委員・組長さん等様々な方にアンケートをしてもらえるように取り組む。	・移転をして初めての地域評価だったため、新しい方へ地域評価を広げるよりも、俗明院の方へ地域評価をしてもらえるように心掛けた。		・サービス評価の総括表で考えた改善計画を意識して取り組めるように、スタッフへの開示をし、改善していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	・事業所の様子が分かるパンフレットを作成し、地域の方々に配っていく。	・事業所内の様子が分かるパンフレットの作製は出来なかったが、コロナが落ち着いた時に感染予防をして事業所内の見学などはしてもらえた。	・近くで畑をやっていると、いつも楽しそうな声が聞こえてきて気持ちがいいです。穏やかに笑っている入居者の方をお見掛けするので安心してしています。	・引き続きコロナの感染予防を行いながら、事業所へ来ていただけるような取り組みを考える。希望があった時には見学の対応を行う。
C. 事業所と地域のかかわり	・みんなで集まって行う喫茶いこいではなく、新しいスタイルの喫茶いこいの開催を行う。	・地域に向けて喫茶いこいは行うことは出来なかったが、コロナ感染が落ち着いた時に再開ができるように、偶数月の第 2 土曜日には、利用者さんが楽しめる取り組みを開催している。	・挨拶などは感心するほどよくできている。	・事業所より地域に出ていくことはもちろん、地域の方が憩いの家に来ていただけるように、偶数月の第 2 土曜日に喫茶いこいを再開する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・4 月に移転が決まっており、新しい地域でも利用者さんと地域に出る機会を作っていく。(感染予防を徹底して)	・公民館横のお宮に初詣に行かせてもらったり、近所のコンビニへ買い物に行っている。桜の季節には公民館へお花見に行きたいと思っている。	・コロナ禍でなかなか双方行事が無くてこれからです。	・コロナの感染予防をして日頃から地域に出ていく機会を作っていく。公民館の行事が再開した時には利用者さんと一緒に参加をする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・地域運営推進会議を集まって行うことが難しいため、お渡しする資料で地域からの意見を吸い上げやすくなるように内容の見直しを行う。	・地域運営推進会議をリモートで行うようになり、顔を合わせて会議を行うことができ、事業所の様子や取り組みはパワーポイントでまとめて写真でお伝えしている。区長さんより地域の情報なども頂けて助かっている。		・地域運営推進会議では事業所の報告ばかりになっているので、地域からの話が聞けるような工夫が必要。
F. 事業所の防災・災害対策	・今年度は防災訓練と合わせて感染症対策訓練の計画をたて実施・評価を行っていく。 ・事業継続計画 (BCP) の作成もする。	・今年度初めに感染症訓練を行い、ゾーニングと防護服の正しい着用の仕方の訓練を行う。防災訓練は火災と地震想定で、隣のグループホームと合同で行い災害時の動きを確認した。	・コロナ禍の地域行事への参加前向きに検討下さい。	・実施した訓練内容や様子は地域運営推進会議で報告させていただき、意見を頂く。 ・事業継続計画 (BCP)

